

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
環境科学概論B	環境問題と環境マネジメント	中村 陽一	1 年次後期
講義の目的	①環境問題に関わる歴史を概観する。②持続的な社会を築くための手法としての「環境マネジメント」の内容と考え方を学ぶ。③持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs) の概要を理解する。		
到達目標	①環境問題に関わる基本的な用語を理解し説明できる。②環境マネジメントの考え方を理解している。③持続可能な開発目標・SDGs の概要を理解し、自分の考えを述べる事が出来る。		
講義内容	①環境問題に係る歴史の概観。②環境マネジメントの国際規格である ISO14000 シリーズの手法と考え方。③SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) の目標とターゲット。		
講義スケジュール	第1講	地球環境問題と資源・エネルギー問題の概要と展望。エコロジカルフットプリント。	
	第2講	環境科学的視点から見た世界史。イースター島の謎と環境破壊。古代文明の滅亡と森林破壊。	
	第3講	持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs) の概要。	
	第4講	SDGs の 17 の目標と 169 のターゲット。持続可能な開発のための 2030 アジェンダ。	
	第5講	地球温暖化の現実。IPCC 第5次報告の概要と未来予測。パリ協定の内容。	
	第6講	企業の社会的責任 (CSR) とは何か。公害問題と企業責任。	
	第7講	社会的責任 (SR) の国際規格 ISO26000 の概要。CSR と SDGs。	
	第8講	企業倫理と社会的責任投資。社会的責任投資 (SRI) と国連責任投資原則 (PRI)。	
	第9講	環境マネジメントの国際規格 ISO14000 シリーズの概要。	
	第10講	ライフサイクルアセスメント (Life Cycle Assessment : LCA) の概要と手法。	
	第11講	消費者の環境意識の高まりと環境マネジメント。 環境ラベルの国際規格と様々なラベル。	
	第12講	地球温暖化対策と省エネルギー技術。 循環型社会形成推進基本法とリサイクル関係法制度。	
	第13講	電力自由化とエネルギー需給の見通し。原子力発電の世界的動向と日本の選択。	
	第14講	再生可能エネルギーの可能性と課題。固定価格買取制度の概要と今後の課題。	
	第15講	総まとめと環境問題に関わる用語や知識の整理。 持続可能な開発目標 (SDGs) の内容の再確認。	
指導方法	スライドによる資料・映像を用い、必要に応じて資料を配布して授業を進める。使用したスライドは授業の後に web 上に up する。また授業ごとに小レポートを課す。		
授業外学習	授業で提示したスライドを web 上に up するので、それを参照して復習すること。また、講義の最後に次回の授業内容と予習すべき事項を伝える。		
成績評価方法	本試験 (筆記試験) 30%、平常点 (毎回の授業ごとに課す小レポート、内容は、①用語説明 ②事項説明 ③自分の考えの論述など) 70%		
ステキ	なし		
書籍参考	授業中に紹介する。		
事項記	日頃から環境問題に関心を持って授業に臨むこと。		